

Murakami Shinkin Bank

第77期

業務報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日



大したもん蛇まつり (関川村)

ごあいさつ



会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より村上信用金庫をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

令和6年度の日本経済は、大企業の収益回復や賃金の向上により個人消費に前向きな動きがみられるほか、設備投資の増加に繋がっており、全体としては緩やかな景気回復基調にあります。

また、昨年の日銀のマイナス金利解除により段階的に政策金利が引き上げられ、10数年ぶりの「金利のある世界」が到来しております。

このような中、当金庫は令和7年度に新中期経営計画「未来を拓く変革への挑戦」の2年目として、「地域とお客様への課題解決力の強化」「持続的な人的基盤の確立」「生産性の向上と収益力の強化」の3項目を重点施策に掲げ取組んで参ります。

金融業界においては、コロナ禍を経て、様々な分野において急速に進むデジタル化や脱炭素社会の実現に向けた取組みが求められており、金融機関を取り巻く環境変化は劇的に進んでおります。

多様化するお客さまや地域のニーズに応えるべく「地元のメインバンク」として、地域の皆さまから期待に応えられる金融機関であり続けるよう、役職員一人ひとりが考え、行動し、その力を結集し挑戦して参ります。

今後とも変わらぬご支援と一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月

理事長 齋藤 和彦

当金庫の概要

◆ 名 称	村上信用金庫
◆ 本 店 所 在 地	〒958-8601 新潟県村上市小町2番15号 TEL：0254-53-2181（代表）
◆ 創 立	明治40年11月
◆ 会 員 数	8,208名
◆ 店 舗 数	7店舗
◆ 出 資 金 残 高	3億67百万円
◆ 常勤役職員数	88名
◆ 自己資本比率	21.15%

（2025年3月31日現在）

経営理念

1. 私たちは、お客様の発展と幸せのために最善を尽くします。
2. 私たちは、地域社会の発展のために最善を尽くします。
3. 私たちは、村上信用金庫の発展と役職員全員の幸せのために最善を尽くします。

役 員

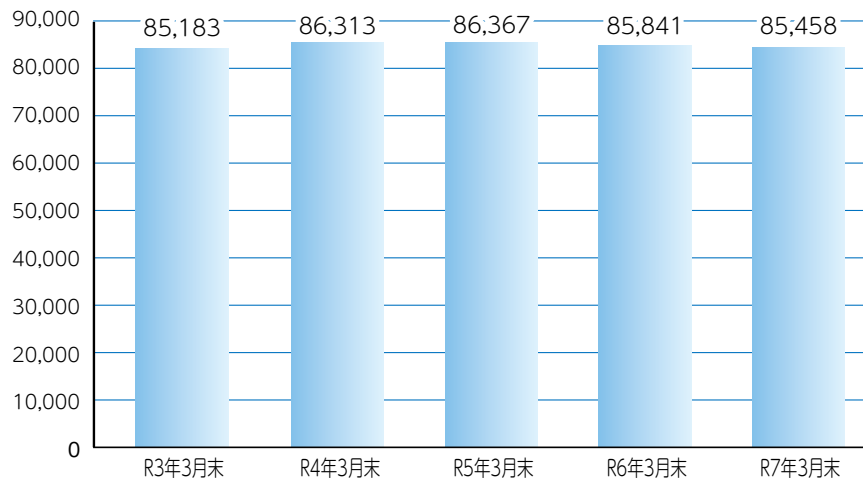
理 事 長	齋 藤 和 彦	理 事	横 井 仁
専務理事	五十嵐 和 明	理 事	伴 田 宏
常務理事	長谷川 勝 人	常勤監事	佐 藤 浩 之
常勤理事	吉 田 茂	監 事	丹 善 広
常勤理事	八藤後 靖 子	監事(員外)	小 田 健 司

（2025年3月31日現在）

業績の推移

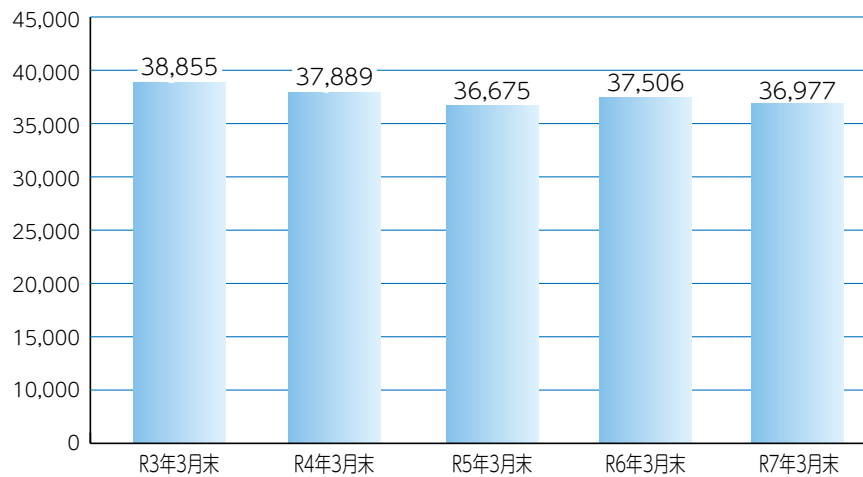
預金積金の残高推移

(単位:百万円)



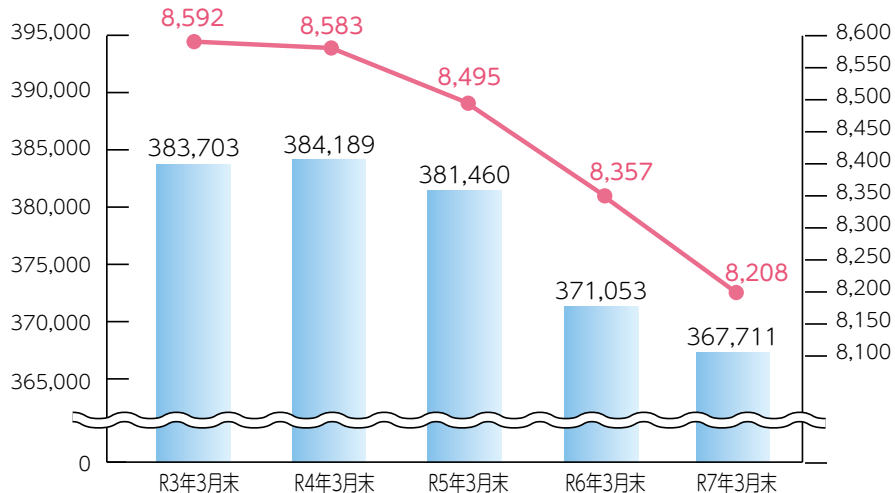
貸出金の残高推移

(単位:百万円)



会員数・出資金の推移

■ 出資金 (単位:千円)
● 会員数 (単位:人)



第77期 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現 金	1,461
預 け 金	9,572
買 入 金 銭 債 権	83
有 価 証 券	46,438
国 債	2,057
地 方 債	3,495
社 債	19,436
株 式	1,927
そ の 他 の 証 券	19,522
貸 出 金	36,977
割 引 手 形	150
手 形 貸 付	2,185
証 書 貸 付	32,020
当 座 貸 越	2,620
そ の 他 資 産	697
未 決 済 為 替 貸	7
信 金 中 金 出 資 金	505
前 払 費 用	6
未 収 収 益	166
そ の 他 の 資 産	10
有 形 固 定 資 産	363
建 物	82
土 地	207
リ ー ス 資 産	25
その他の有形固定資産	47
無 形 固 定 資 産	14
ソ フ ト ウ ェ ア	6
その他の無形固定資産	8
前 払 年 金 費 用	30
繰 延 税 金 資 産	156
債 務 保 証 見 返	705
貸 倒 引 当 金	△ 805
(うち個別貸倒引当金)	△ 768
資産の部合計	95,697

(単位：百万円)

科 目	金 額
(負債の部)	
預 金 積 金	85,458
当 座 預 金	1,620
普 通 預 金	44,254
貯 蓄 預 金	394
定 期 預 金	34,489
定 期 積 金	4,114
そ の 他 の 預 金	585
借 用 金	1,500
当 座 借 越	1,500
そ の 他 負 債	242
未 決 済 為 替 借	13
未 払 費 用	27
給 付 補 填 備 金	1
未 払 法 人 税 等	39
前 受 収 益	23
払 戻 未 済 金	1
払 戻 未 済 持 分	0
職 員 預 り 金	43
リ ー ス 債 務	28
資 産 除 去 債 務	24
そ の 他 の 負 債	38
賞 与 引 当 金	32
退 職 給 付 引 当 金	27
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	65
睡眠預金払戻損失引当金	1
偶 発 損 失 引 当 金	41
債 務 保 証	705
負 債 の 部 合 計	88,076
(純資産の部)	
出 資 金	367
普 通 出 資 金	367
利 益 剰 余 金	8,071
利 益 準 備 金	371
そ の 他 利 益 剰 余 金	7,700
特 別 積 立 金	7,175
(地域奉仕積立金)	(200)
(本店建設積立金)	(500)
当期末処分剰余金	525
会 員 勘 定 合 計	8,439
その他有価証券評価差額金	△ 818
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 818
純 資 産 の 部 合 計	7,620
負債及び純資産の部合計	95,697

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第77期 損益計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)		
科 目	金 額	
経 常 収 益		1,434,795
資 金 運 用 収 益	1,307,318	
貸 出 金 利 息	622,423	
預 け 金 利 息	86,582	
有価証券利息配当金	587,685	
その他の受入利息	10,627	
役 務 取 引 等 収 益	98,159	
受 入 為 替 手 数 料	33,001	
その他の役務収益	65,158	
そ の 他 業 務 収 益	13,254	
国債等債券売却益	962	
その他の業務収益	12,292	
そ の 他 経 常 収 益	16,062	
償 却 債 権 取 立 益	658	
株 式 等 売 却 益	14,534	
その他の経常収益	870	
経 常 費 用		1,294,410
資 金 調 達 費 用	44,518	
預 金 利 息	42,124	
給付補填備金繰入額	1,255	
借 用 金 利 息	923	
その他の支払利息	215	
役 務 取 引 等 費 用	95,356	
支 払 為 替 手 数 料	10,496	
その他の役務費用	84,860	
そ の 他 業 務 費 用	1,339	
国債等債券売却損	995	
国債等債券償還損	53	
その他の業務費用	291	
経 費	903,042	
人 件 費	635,509	
物 件 費	244,522	
税 金	23,010	
そ の 他 経 常 費 用	250,154	
貸倒引当金繰入額	227,866	
そ の 他 資 産 償 却	1,268	
その他の経常費用	21,019	
経 常 利 益		140,384
特 別 損 失		408
固 定 資 産 処 分 損	408	
税引前当期純利益		139,976
法人税、住民税及び事業税	77,998	
法 人 税 等 調 整 額	△ 9,138	
法 人 税 等 合 計		68,860
当 期 純 利 益		71,115
繰越金(当期首残高)		454,141
当 期 末 処 分 剰 余 金		525,257

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第77期 剰余金処分計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)	
科 目	金 額
当 期 末 処 分 剰 余 金	525,257,827
利 益 準 備 金 取 崩 額	3,341,700
計	528,599,527
剰 余 金 処 分 額	111,018,210
普通出資に対する配当金(年3%)	11,018,210
特 別 積 立 金	100,000,000
繰越金(当期末残高)	417,581,317

庶務の概要

●第76期通常総代会

令和6年6月19日、第76期通常総代会を村上市瀬波温泉「大観荘せなみの湯」において開催しました。

報告事項

第76期(令和5年度)業務報告、貸借対照表及び損益計算書報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款第15条に基づく会員除名の件
- 第3号議案 総代候補者選考委員選任の件

以上いずれの議案も原案通り承認可決されました。

●総代会制度について

信用金庫は、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫の会員数は8,208名(令和7年3月末現在)と多く、総会の開催は事実上不可能であることから、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
 - 総代の定数は、60人以上80人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。
- なお、令和7年3月末現在の総代数は70人です。